

用意するもの

- はさみ ● カッターナイフ ● 定規
- のり(合成ゴム系接着剤や、木工用接着剤)
- 折りスジを付けるための道具
(先のとがったもの、鉄筆や、インクの切れたボールペンなど)

あると便利なもの

- 丸みを付けるための円柱棒(編み棒や鉛筆)
- 紙の切り口着色用塗料(アクリル絵の具や、サインペンなど)
- つまようじ ● 工作用マット など

作り方

1. パーツを切り取り線に沿って切り離します。

※パーツのカット面(紙の断面)は組み立て前に同色の絵の具やサインペンで、あらかじめ着色しておくとう仕上がりが美しくなります。

2. -----山折り、-----谷折りの線に沿って折り目をつけます。

鉄筆やインクの切れたボールペンなど、先のとがったものでスジをつけておくときれいに折れます。印刷面にキズを付けたくないときは紙の裏からスジを付けます。
※折るところはしっかり折るのがポイントです。

3. アール(丸み)をつける場所は、丸めたい部分の上に定規をあて、紙の端を持ち上げながら、定規をずらしてカールさせる方法と、円柱状のものを芯にして、巻きつけながらしごく方法などがあります。図の ----- がアールをつけるところです。

4. 接着する前に、組み立て図や完成写真をよく見て、どんな形になるのか仮組みをしてみます。

5. 接着剤は紙のへら(紙の余白を利用してへらを作る)やつまようじなどを使っとうすくぬるとききれいに仕上がります。

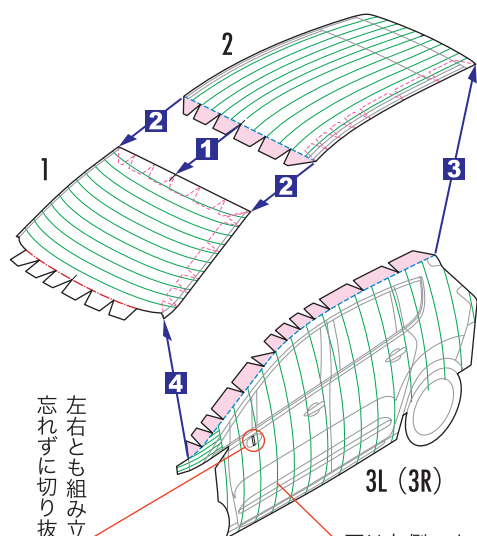
完成写真や組み立て図をよく見て、必ず、■の番号順に接着してください。

※基本的にパーツ番号の1から順に2、3、4・・・と組み立てていくのが約束です。

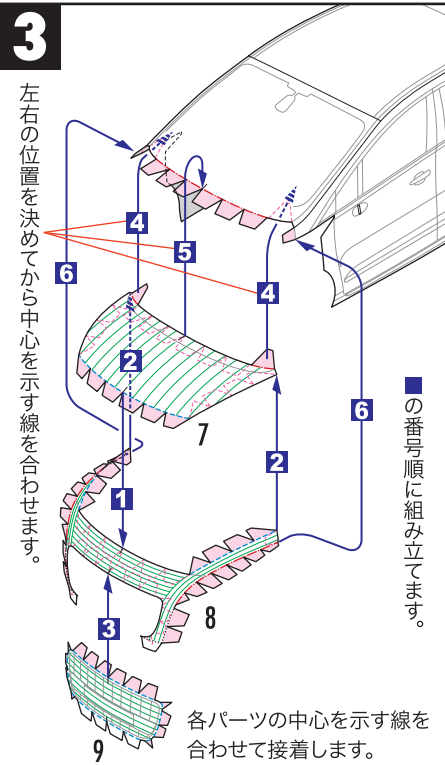
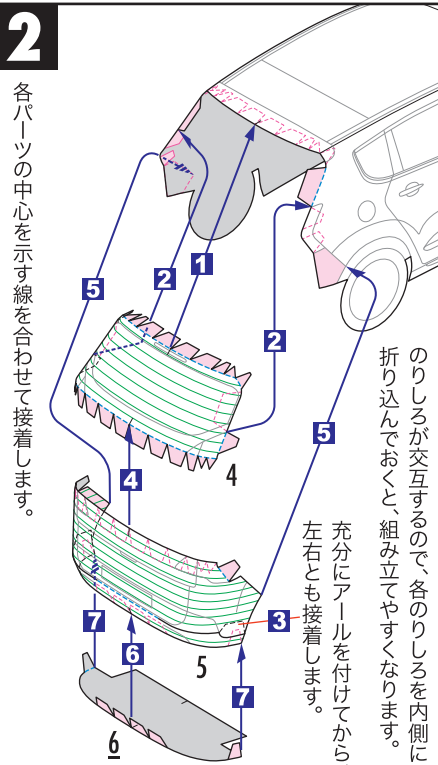
図中の ■ は紙の裏側、■ はのりづけするところを表しています。

※カッターナイフを使用する際は指など切らないよう充分ご注意ください。

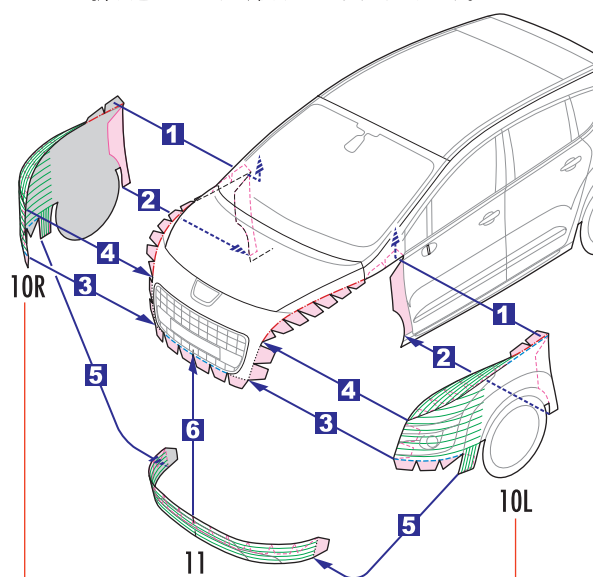
1 折るところはしっかり折るのがポイントです。充分なアールを付けてから、必ず、■の番号順に組み立てます。各のりしろは内側に折り込んでおくとう組み立てやすくなります。



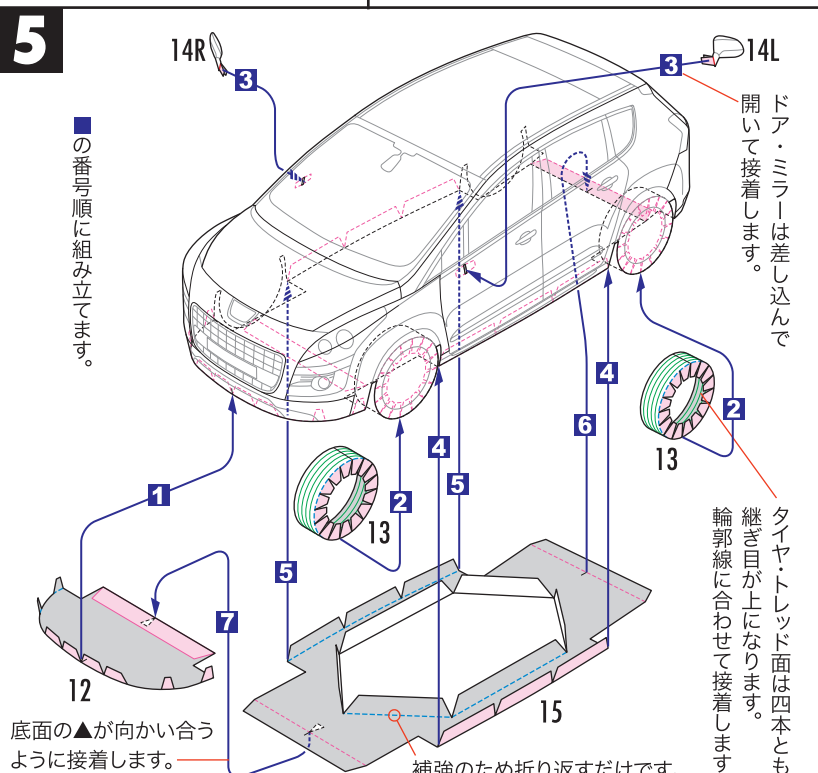
図は左側です。
()内の番号が右側です。
右側も同様に組み立てます。



4 のりしろが交互するので、各のりしろを内側に折り込んでおくとう組み立てやすくなります。



10L (10R) を組み立てたら、まず、1を差し込んで位置を決め、2を接着します。次に、3の位置を決めてから、4を順に接着していきます。



底面の▲が向かい合うように接着します。

補強のため折り返すだけです。

ドア・ミラーは差し込んで開いて接着します。

タイヤ・トレッド面は四本とも継ぎ目が上になります。輪郭線に合わせて接着します。